

2013年11月18日

関西から食卓を考える会  
代表者 畑 理枝 様

イオン株式会社  
グループお客さまサービス部  
部長 三宅 香



貴団体よりのご要望に対するご回答

先般 2013年10月23日には弊社西近畿カンパニー野田事務所までお越し頂き、ご要望書並びに添付資料、署名等をお持ち頂きましたこと、心より御礼申し上げます。皆さまの食の安全に対する意識の高さに敬意を表すると共に、頂きました詳細な資料の数々ありがとうございました。資料の全ては把握できておらず、参考にさせていただきます。これらの資料を、判断根拠として活用するには、食品を扱っている関連企業だけでも50社強を有するグループであるため、情報を精査し事実確認を行い、総合的な判断のため時間要することに対し、ご理解賜りたく存じます。

尚、ご要望頂きました点に対して、下記の通り、弊社としてのご回答を申し上げます。

1. 放射性物質の測定及びベクレル表示に関するご要望について

2012年1月より自主的に生鮮品の放射線物質の含有量を検査し、弊社ホームページ（HP）において結果を開示しています。また、この検査体制について、検出限界値、サンプリングに対する考え方を開示しています。生鮮品は、収穫地から検査を経て店頭へ並ぶまでに要する時間が、鮮度低下のリスクを増大させます。そのため、現在の弊社の流通のシステムにおいて、商品への個別表示は困難と考えています。

商品の表示は、法的義務のある項目で、消費者の皆さまのご要望すべてが満たされるとは考えておりません。そこで、弊社では、例えばプライベートブランド（PB）商品には、アレルギー表示において制度開始当初から欄外表記やアレルゲンの個別表記をするなど、できる限りの対応をしてきました。しかし、パッケージの印字スペースには限りがあり、リスクの程度と消費者のニーズから優先度を考慮し、表示項目を選択していく必要があります。今回の放射性物質に関しては、表示がないことは検査結果の開示を否定するものではありません。お手間をとらせて申し訳ありませんが、個別に直接トップバリュお客さまサービス係（0120-28-4196）までお問い合わせください。可能な限りご回答する体制を取っております。尚、その際、場合によっては検査結果確認のためにお時間をいただくことがあります。

個別商品の検査を限りなく精密にしていくことは今日の科学技術をもってすれば可能かもしれませんが、コストをある程度お客さまにご負担頂くことを前提に、国の定める基準とは別にして

検査し、検査に合格しない食品を排除し続ける事は不可能ではないと思われます。しかし、事故から2年半経過した今だからこそ、今一度事故前の日本の状態を取り戻すための努力に対して投資をしていくことも当社の社会的責務であると考えています。

## 2. NB 食品メーカー企業及び取引先様に関して

取引先食品メーカー様の商品に関しては、法律に準拠しているか否かを確認し、商品を取り扱う側としてその商品価値を認め販売しています。各社様の自主検査体制及び基準値の設定に関しては、各社様のご判断であり、また、商品を選択される消費者の皆さまの判断と考えます。

尚、PB商品に関しては、上記の通り自主検査を実施し、自主基準に基づいた商品を仕入れ、販売しております。

## 3. 産地表示を始めとする表示問題に関して

商品の産地や原産国情報が、消費者の皆さまの関心の高い事項であることは、当社としても十分に認識をしています。そして、消費者の皆さまが購入判断に必要と思われる情報を開示する事は、我々小売業の責務であると考えます。

食品製造過程での意図的でないミスや誤解に基づく誤表示に関しては、原材料の確認から表示作成までに至る仕組みや従業員の教育を通して、防止に向けて最善の努力をしています。

しかし、生産管理体制や産地がトレース出来る仕組みを業界全体で構築していかなければ、検査やチェック体制の強化だけでは恣意的な偽装行為等を防ぐことは困難と考えます。これは当社一社の取組だけで解決できる問題ではなく、業界全体の意識、そして関係する企業間の信頼関係の上に始めて成り立つものです。

業界におけるリーディング・カンパニーの1社として、皆さまからのご要望も踏まえ、働きかけをしていく所存でございます。

2011年の福島第一原発の事故から2年半が経ちました。未だに様々な局面において事故前の状況に戻ったとは言いがたい状況です。食品スーパーやコンビニ、ドラッグストア等を含め全国に15,000店舗の店舗網を有し、営業収益日本小売業 No. 1 という位置付けにある当社としては、全国の消費者の皆さまへ安全な食品をご提供することは勿論のこと、一刻も早く東北の生産者を含む全ての方々が元の生活に戻れるようご支援することも重要な使命の一つであると考えています。

最後になりましたが、改めまして、今回の貴重なご意見及び情報に感謝申し上げますと共に、今後も引き続き情報交換させていただければ幸いです。

以上